

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和元年11月28日（木）

2 確認箇所

4号機原子炉建屋近傍（No. 49サブドレンピット）

3 確認項目

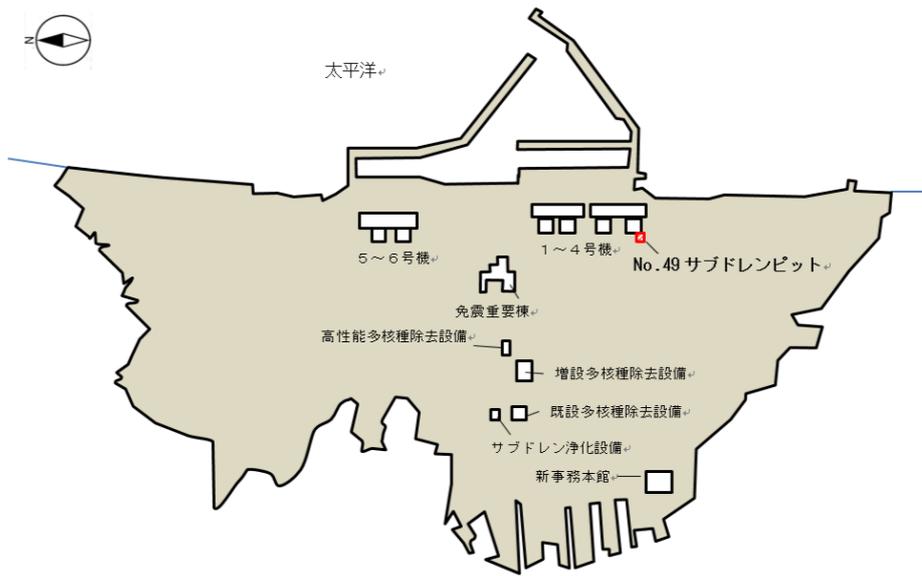
No. 49サブドレンピット復旧工事の状況

4 確認結果の概要

サブドレン集水設備の汲み上げ量を増加させるため、4号機原子炉建屋近傍のNo. 214新設サブドレンピット（口径：φ200、以下「No. 214ピット」という。）を口径の大きい（φ1,000）増強サブドレンピットに変更することが検討されていたが、地下干渉物等の影響により、増強が難しいことが分かったため近傍のNo. 49既設サブドレンピット（以下「No. 49ピット」という。）を復旧することで対応することとなった。

本日はNo. 49ピットの復旧工事の状況を確認した。

- No. 49ピットは金属製の箱で覆われており、当該ピットまわりはコンクリートが打設されていた。（写真1）
- 近傍のNo. 213増強サブドレンピット（以下「No. 213ピット」という。）ではピット上部にピットの番号が表示されていたが、No. 49ピットには番号が表示されていなかった。（写真2）
- No. 49ピットまわりには配管や電源ケーブルが接続されておらず、また水位伝送器収納箱も設置されていなかった。（写真3）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
No. 49ピット外観

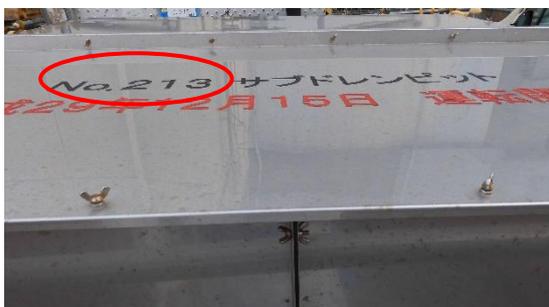


(写真2)
No. 49ピット上部
「サブドレンピット」とのみ表示されているが、番号は表示されていない



(写真3)
No. 49ピットの配管接続部分 (赤丸部分が配管接続部分)

(参考)



(写真4-1)
No. 213ピット上部
サブドレンの番号が表示されている
(赤丸部分)



(写真4-2)
No. 213ピットの配管接続状況



(写真4-3)
No. 213ピットの水位伝送器収納箱
No. 49ピットについては当該収納箱
は未設置

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。